



肢体不自由児者父母の会会長
齋藤 寛さん・67歳
池端町

夢を諦めずに笑顔の人生を

市内の肢体不自由児者とその父母で構成し、50年目の前橋市肢体不自由児者父母の会。齋藤さんは長年会長を務めている。

「障害者やその親は、一人で悩みを抱えがち。でもみんな支え合い、悩みを分かち合っていて、少しでも夢が持てるようこの活動をしています」

現在、会員は約70人。月に2回の理学療法士による機能訓練とバーベキューやクリスマス会、訓練旅行などで交流を深めている。障害者本人たちも、パラリンピック正式種目であるボッチャの大会を目指して、楽しみながら練習に励んでいる。

「親子だけでなく、親同士や

子ども同士の交流も大切。仲間と共に喜びあい、励まし合うことで明るい日々を過ごせると思っています。会員の悩みは人それぞれ。みんなの声を聞き、常に新しいことにチャレンジして、悩みを解決していきたいですね」

仲間のために力を尽くす齋藤さん。会の活動をさらに充実させたいという。

「障害があっても笑顔で楽しい人生を送れるように、たくさんの方の交流の場をつくってきたいと思っています。一人で悩んでいる人にも、ぜひ参加してほしいですね」

これからも活動をとoshiteたくさんの方の笑顔を生み出していくだろう。



城跡で歴史を感じる

11月14日に大胡城跡や大胡シヤンテなどで大胡城・牧野氏まつりを開催しました。鉄砲隊パレードでは地元中学生も武者姿で隊列に参加。迫力ある鉄砲隊の演武や第17代牧野家当主・牧野忠昌さんの記念講演なども行われ、訪れた人たちは地域の歴史に思いを巡らせていました。



消防隊員と楽しく交流

11月7日、児童文化センターなどで消防ふれあい広場を開催。ちびっこレスキュー体験やミニ消防車試乗のほか、消防音楽隊50周年コンサートなどを行いました。来場者は、隊員との交流を図りながら、深まりゆく秋のひとつときを楽しく過ごしていました。



秋元公たたえいざ出陣

総社市民サービスセンターで11月8日、総社秋元公歴史まつりが開催されました。これは江戸時代初期の総社藩主で、天狗岩用水を完成させるなどした秋元氏の功績をたたえる祭り。秋元長朝役の山本市長らが勝ちどきを上げ、武者絵巻を展開しました。

赤城の恵

前橋市
100点満点
之太鼓判

vol. 29



清酒「赤城雅」(赤米仕込・黒米仕込)

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は清酒「赤城雅」(赤米仕込・黒米仕込)を紹介いたします。

■古代米を日本酒に

原料には上大島町の自家農園で大切に育てた赤米と黒米の古代米を使用。そこに赤城山麓の自然水と麴を加え、発酵させて日本酒に。古代米はポリフェノールを多く含み、白米に比べて栄養価が高いので健康志向の人にお勧めです。古代米独特の色と香り、すっきりとした酸味とほのかな甘味

が特徴です。

■こだわりの水田栽培

米ぬかを使用した有機肥料の土壌と化学物質を減らした除草作業

での水田栽培にこだわっています。また、収穫から米の保管までを一貫して行っているのので、丁寧な品質管理ができています。

■お祝い事に貴重な一品

貴重な古代米を使用しているため、期間限定で各500本を販売。2本入った化粧箱入りもあり、贈り物にも利用できます。清酒「赤城雅」は自社直売所のほか、JAFファーマーズ朝日町店などで販売しています。

■世界へ販路拡大

10月にシンガポールで開催されたOishi JAPANに出展し、自慢の清酒をアピール。今後は輸出にも力を入れ、販路拡大を進めます。

■生産者からのメッセージ

自家農園で手間暇かけて育てています。地域に元気を与えられるよう、楽しく活気のある農業を目指していきたいです。箱入りもあるので、祝い事や贈り物にも活用してください。

問い合わせは

石田農園 ☎027-261-5182